

後の地球はどのようなになっているのだろうか。人間も淘汰され江戸時代のようなエコな循環社会になっているのか?科学の力で地球と人間がうまく共生しているのか?まさか、ぜつめつ…。

それにしても、政治家の皆様からは、パンデミック、テレワーク、ソーシャルダンス、ウイズコロナ、トリアージ等々、次々とカタカナ語が出てくる。その度にスマホ片手に検索面倒くせーと思つたが、これが政府の言う自助?ほけ防止対策の粋な計らい?でもねえ又、翌日同じ単語が出て何だっけ…?GOTOやペイペイもやつと覚えたと思つたら今度はステイ、ウイズ、コミニケーションだつて。  
また調べなくては…。

# 地区だより

## スノーバスターズ

四日町一丁目二区 隊長 平沢吉見

花北地区コミュニティ協議会より原稿依頼があったことから、四日町一丁目二区スノーバスターズの活動を紹介したいと思ひます。  
令和3年に入り、例年になく雪が多いことから活動の回数が増え、今年も隊員一同、奮闘して頑張っております。

スノーバスターズも今年で20年目を迎えますが、発足当時は隊員も若かったこともあり、25名で張り切つて活動していましたが、隊員の高齢化にともなつて、1人減り、2人減りとなりながらも現在18名で活動しております。  
作業箇所は、主に独居老人世帯、高齢者世帯など18世帯を4班に分け、都合がよい時に作業すること、確認し合いながら続けております。



今年は雪が多くて大活躍

ちょうど10年目の平成22年度、市民憲章運動実践活動として花巻市市民憲章推進協議会より表彰を受けることができました。このことは隊員たちの熱い思いと努力、結束の行動が、明るい街づくりに貢献できた証であり、仲間たちと共に受賞を喜んだものでした。

今でも時々、高齢の方々から感謝の言葉など戴くことがあります。が、我々の活動は間違いなく地域社会貢献として根付き、認知されてきていることを意識し、これからも地域住民のため、住みよい街づくりを目指して頑張つて行こうと話し合っております。

今後とも、諸先輩の方々からの益々のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。我がスノーバスターズの紹介を終わります。

## 永寿部の活動について

愛宕町永寿部長 尾形マサエ

愛宕町自治会永寿部は、平成23年に発足しています。以来、高齢者の健康増進と親睦を図ることを目的に、地域の方々のご協力により活動を続けて参りました。

毎月20人程の参加者で「ふれあい交流会」を開催しています。例年は、春秋2回の温泉旅行、講師を招いての学習会やレクリエーション、季節に合わせたクリスマス会や新春お茶会・雛祭り会、そして室内での軽スポーツや体操で身体を動かしています。

しかし、残念ながらコロナ禍のため、昨年3月から6月までは開催することが出来ませんでした。再開に当たっては、感染予防対策の吟味は勿論、内容や会場づくりについても十分配慮し、緊張の中間催にこぎつけました。

7月は、市の保健師をお迎えして、コロナ対策



ビデオ視聴による学習

や熱中症予防についての健康講座を開催しました。心配していた参加者も12名集まり、ほっと胸をなで下ろしました。

感染予防対策は、会場入り口でのマスク着用と手指の消毒の徹底を図り、また非接触型赤外線体温計を用意して、参加者の体温測定に努めました。密にならないように椅子の配置に気を付け、終了後は係りが一腳ずつ消毒をしました。以来、これらは当たり前のこととして、毎回徹底した実践を続けております。

内容も温泉旅行はなくなり、楽しみだった会食やお茶会も実行できず残念なのですが、軽スポーツや雛人形作りなど今できることを実践し、毎月顔を合わせて元気なことを確かめ合うことに、喜びを感じています。

わが永寿部の今後の課題は、参加者が女子会になつていくことです。男女のバランスが良く、充実した活動が出来るような会を目指していきたいものです。

### ◆編集後記

コロナ禍に負けない活動や取組み等、貴重なご寄稿に感謝申し上げます。29号が届く頃には雪もつけコロナも終息に向かっている事を願います。

編集長 北山六郎